

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和7年8月20日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和8年1月20日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	令和7年8月20日		～ 令和8年2月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月13日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	●訪問支援において、子どもや保護者のニーズを捉え、適切な支援の提供ができています。	●多職種で子どもの状況を把握し、支援内容を多角的に検討している。 ●支援前に、事前訪問を行い、訪問先の様子を確認し個別支援計画に盛り込んでいる。 ●定例会で個別支援計画や支援内容を関係職員で共有するようにしている。	●今回の評価結果を踏まえて、子どもや保護者のニーズ、訪問先のニーズに応じた適切な支援が行えるように引き続き努めています。 ●よりわかりやすい報告、説明ができるように工夫していきます。
2	●保護者に対する個別支援計画の説明や訪問支の報告、訪問先への助言や説明等については丁寧に行っている部分があり、満足度が高かった。	●訪問先職員に支援方法を具体的にお伝えできるように努めている。 ●子どもの様子を共有しながら、訪問先職員と支援について一緒に考えるように努めている。 ●保護者報告は対面、書面で十分な時間をとって実施できるように努めている。	
3	●各種専門職(OT、ST、CP、保育士等)が配置されており、お子さんの課題に応じた支援に携わっている。	●利用者の課題に応じた支援ができる専門職が担当できるようにしている。 ●複数の職員で支援に出ることもあり、その際はそれぞれの視点で利用者の様子を確認するようにしている。	●各種専門職の配置を継続し、子どもに応じた適切な支援ができるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	●保護者等に対して、家族支援プログラムや研修会等の情報発信が不十分だったところがある。	●HPやSNSでの情報発信は行っていない。 ●個別の支援の報告は各保護者に実施しているが、事業概要等の説明はリーフレットでの事業説明のみだった。	●事業所ガイドブックへの掲載を継続していきます。 ●面談等を通して、保護者のニーズをしっかりと捉えながら保護者が必要とする情報をお伝えできるようにしていきます。
2	●訪問先施設に対して、課題や困りごとへの解決が不十分だったところがある。	●各訪問先施設の方針や職員体制等に合う形での必要な支援が十分に提供できていなかったと思われる。	●訪問先施設の方針や職員体制などを十分に理解した上で、訪問先で実行可能な支援方法を提案できるように努めていきます。
3			